

- 表、2011.
- 飯塚信吾、藤部荒術、太田昌二、嶋田憲司、大石敏寛、河口和也. 3地域の地方公共団体とNPOの連携によるHIV検査事業の実践. 第25回日本エイズ学会学術集会口演発表、2011.
 - 嶋田憲司、太田昌二、大石敏寛、河口和也、藤部荒術、飯塚信吾. 『ライフガード 2009-2010』～MSM向け予防啓発事業の実施と普及. 第24回日本エイズ学会学術集會示説発表、2010.
 - 太田昌二、嶋田憲司、河口和也、藤部荒術、大石敏寛、飯塚信吾. 個別施策層向けのHIV対策並びにNPO連携によるHIV対策に関する地方公共団体向けの質問票調査. 第24回日本エイズ学会学術集會示説発表、2010.
 - 嶋田憲司、太田昌二、藤部荒術、飯塚信吾、大石敏寛、河口和也. STI/HIV診療に関する性的指向に基づいた意識調査. 第69回日本公衆衛生学会総会口演発表 2010.
 - 太田昌二、藤部荒術、嶋田憲司、河口和也、大石敏寛、飯塚信吾. 2地域での地方自治体とNPOの連携によるHIV検査事業の実践. 第69回日本公衆衛生学会総会口演発表 2010.
 - 河口和也. 『あたしたちはここにいますよ』—日本の地方都市に住む一人のレズビアン の生活事例. 日本女性学会大会口頭発表、2009
 - 河口和也. オープン・ザ・ドア—ライフスタイルの商品化とセクシュアリティの不/可視化過程. 第2回クィア学会大会口頭発表、2009
 - 太田昌二、飯塚信吾、絵野沢勝、河口和也、嶋田憲司、杉山雅人、鳩貝啓美、苗村直美、藤部荒術. 地方自治体とNPO連携による検査事業化と実践～NPOの立場から～. 第23回日本エイズ学会学術集會口演発表、2009.
 - 藤部荒術、飯塚信吾、太田昌二、河口和也、嶋田憲司、杉山雅人、鳩貝啓美. 個別施策層向けのHIV対策に関する地方自治体向けの質問票調査. 第23回日本エイズ学会学術集會口演発表、2009.
 - 太田昌二、飯塚信吾、河口和也、杉山雅人、嶋田憲司、鳩貝啓美、藤部荒術「地方自治体とNPO連携によるHIV検査事業の実践」 第68回日本公衆衛生学会総会口演発表 2009.
- (3) 海外—学会発表
- Kenji Shimada, Shingo Iizuka, Arashi Fujibe, Shoji Ota, Toshihiro Oishi, Kazuya Kawaguchi “Do Local Governments in Japan Work in Cooperation with NGOs, and Work for Vulnerable Populations?” The 10th International Congress on AIDS in Asia and the Pacific 2011.
 - Shingo Iizuka, Kenji Shimada, Arashi Fujibe, Shoji Ota, Toshihiro Oishi, Kazuya Kawaguchi “Creating Behavior Change through Workshop for MSM: LIFEGUARD” The 10th International Congress on AIDS in Asia and the Pacific 2011.
 - Shingo Iizuka, Kenji Shimada, Shoji Ota, Arashi Fujibe, Toshihiro Oishi, Hideo Edo, Kazuya Kawaguchi “LIFEGUARD: HIV prevention campaign for gay men through safer sex workshop at gay bars in Japan—” XVIII International AIDS Conference 2010
 - Kazuya Kawaguchi “We Are Here!: A life case of a lesbian living in local city.” 2nd International Conference on Human Rights (Copenhagen) 2009.
 - Kenji Shimada, Hiromi Hatogai, Arashi Fujibe, Shoji Ota, Keizo Miyachika, Hiroshi Niimi, Masao Kashiwazaki, Kazuya Kawaguchi “Survey of 128 Local Governments in Japan on HIV/AIDS Measures for Specific Target Population” The 9th International Congress on AIDS in Asia and the Pacific 2009.
- 大石敏寛 (特定非営利活動法人 動くゲイとレズビアン の会 副代表理事)
- (1) 国内—論文

- 嶋田憲司、河口和也、大石敏寛 「地方公共団体-NPO 連携による個別施策層を含めた HIV 対策に関する研究」 厚生労働科学研究補助金(エイズ対策研究事業) 総括研究報告書 2011. P1-28
- 大石敏寛、飯塚信吾、太田昌二、岡島克樹、河口和也、新美広、藤部荒術 「地方公共団体-NPO 連携による HIV 対策に対する地域の実情に応じた支援手法の開発」 厚生労働科学研究補助金(エイズ対策研究事業) 分担研究報告書 2011. P63-78
- 嶋貝啓美、藤部荒術、太田昌二、大石敏寛、河口和也、新美広、岡島克樹、飯塚信吾 「地方公共団体-NPO連携による HIV 対策に対する地域の実情に応じた支援手法の開発」 厚生労働科学研究補助金(エイズ対策研究事業) 分担研究報告書 2010. P47-67
- 嶋貝啓美、飯塚信吾、太田昌二、大石敏寛、岡島克樹、河口和也、杉山雅人、新美広、藤部荒術「予防介入プログラムの評価に関する研究」 厚生科学研究補助金(エイズ対策研究事業) 分担研究報告書 2009. P19-34

(2) 国内-学会発表

- 嶋田憲司、大石敏寛、河口和也、飯塚信吾、太田昌二、藤部荒術. NPO 連携による HIV 対策に関する地方公共団体向けの質問票調査. 第 25 回日本エイズ学会学術集会示説発表、2011.
- 藤部荒術、飯塚信吾、太田昌二、嶋田憲司、大石敏寛、河口和也. STD/HIV 診療に関する性的指向に基づいた意識調査. 第 25 回日本エイズ学会学術集会口演発表、2011.
- 飯塚信吾、藤部荒術、太田昌二、嶋田憲司、大石敏寛、河口和也. 3 地域の地方公共団体と NPO の連携による HIV 検査事業の実践. 第 25 回日本エイズ学会学術集会口演発表、2011
- 嶋田憲司、太田昌二、大石敏寛、河口和也、藤部荒術、飯塚信吾. 『ライフガード 2009-2010』～MSM向け予防啓発事業の実施と普及. 第 24 回日本エイズ学会学術集会示説発表、2010.
- 太田昌二、嶋田憲司、河口和也、藤部荒術、大石敏寛、飯塚信吾. 個別施策層向けの HIV 対策並びに NPO 連携によ

る HIV 対策に関する地方公共団体向けの質問票調査. 第 24 回日本エイズ学会学術集会示説発表、2010.

- 嶋田憲司、太田昌二、藤部荒術、飯塚信吾、大石敏寛、河口和也. STI/HIV 診療に関する性的指向に基づいた意識調査. 第 69 回日本公衆衛生学会総会口演発表 2010.
- 太田昌二、藤部荒術、嶋田憲司、河口和也、大石敏寛、飯塚信吾. 2 地域での地方自治体と NPO の連携による HIV 検査事業の実践. 第 69 回日本公衆衛生学会総会口演発表 2010.

(3) 海外-学会発表

- Kenji Shimada, Shingo Iizuka, Arashi Fujibe, Shoji Ota, Toshihiro Oishi, Kazuya Kawaguchi “Do Local Governments in Japan Work in Cooperation with NGOs, and Work for Vulnerable Populations?” The 10th International Congress on AIDS in Asia and the Pacific 2011.
- Shingo Iizuka, Kenji Shimada, Arashi Fujibe, Shoji Ota, Toshihiro Oishi, Kazuya Kawaguchi “Creating Behavior Change through Workshop for MSM: LIFEGUARD” The 10th International Congress on AIDS in Asia and the Pacific 2011.
- Shingo Iizuka, Kenji Shimada, Shoji Ota, Arashi Fujibe, Toshihiro Oishi, Hideo Edo, Kazuya Kawaguchi “LIFEGUARD: HIV prevention campaign for gay men through safer sex workshop at gay bars in Japan-” XVIII International AIDS Conference 2010

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

添付資料 1 : LIFEGUARD の内容構成 (平成 23 年度版)

部	内容	リスク要因	時間
【開会】	○事前アンケートの記入 ○開会挨拶、主催者紹介、コミュニティ協力者(開催店等)紹介		10分
【導入】	○プログラムのポイントと内容、趣旨の解説 出会いとセイファーセックスのつながりや、交流を通じて互いがどのようにセイファーセックスしているかを知ることができること	○関心	5分
【1部】 『ウォーミングアップ』(コンドーム・エクササイズ&レクチャー)	○参加者の緊張をほぐし、学習効果を高めるための「アイスブレイク」(コンドーム使用のエクササイズ、ゲーム方式) ○コンドーム情報提供 サイズ、携帯方法や使用方法、香りや形状などの特徴や入手方法について ○「お悩み相談コーナー」 ・コンドームやコンドーム携帯のグッズ、「出会い」に関する体験談や具体的な質問など	○コンドーム抵抗感 ○行動変容意図 ○関心	10分
【2部】 『検査情報・感染後情報』(ミニ・レクチャー)	○エイズ検査についてのミニ・レクチャー エイズ検査が身近であることを示す調査の結果を紹介 ・ HIV 抗体検査(保健所等の通常検査)における受付～結果まで、実際の検査の流れを紹介 ・ 「ウィンドウピリオド」の知識、即日検査についての情報提供 ・ 検査を受けられる時間や場所についての情報提供 ・ 受検経験の共有や受検の実際の流れを知ること、受検にいたる意思決定を支援 ○感染後についてミニ・レクチャー ・ 感染者の存在が身近であることを示す数値(クイズ) ・ 感染後に相談できる相談先の紹介(病院、ソーシャルワーカー、カウンセラー、NGO など) ・ 「HIV 感染後の生活」を「服薬前」と「服薬後」に分けて紹介 「服薬前」 ・ 拠点病院への通院にての確認事項(CD4 値やウイルス量)また服薬開始はそれらの結果によること ・ 体調管理と日常生活の両立の重要性 ・ 早期受診の大切さのメッセージ 「服薬後」 ・ 服薬の効果と副作用について解説 ・ 金銭的負担や利用できる制度を解説 ・ 継続的な治療と生活管理の重要性 ・ 感染後の平均余命について研究結果を紹介 ・ HIV 感染症および感染者について身近な問題として感じ、合理的・現実的な予防行為の普及を目指す ○「お悩み相談コーナー」 ・ HIV 感染後の生活に関する具体的な相談や質問など	○知識 ○周囲規範 ○行動変容意図 ○関心	30分
	○休憩		10分
【3部】 『予防知識&セイファーセックス』	○予防の知識習得を目指すミニ・レクチャー ・ 「体液」「身体部位」の観点から予防の知識を解説 ・ 上記の知識を実際の男性同士(ゲイ)の性「行為」に当て	○知識 ○主張スキル ○周囲規範	30分

添付資料 1： LIFEGUARD の内容構成（平成 23 年度版）

<p>キルズ・ビルディング』(ミニ・レクチャー&セッション)</p>	<p>はめてリスクの有無やリスクの高低を解説</p> <p>○セイファーセックスが実施しにくいシチュエーションにおける、予防のためのテクニック&コミュニケーション(セイファーセックス・スキル・トレーニング)</p> <p>1. 参加者ごとにセックスをする相手のイメージとシチュエーションを設定し、セイファーセックスのための、具体的なテクニック(言葉やしぐさ、行為など一連の流れ)を考える</p> <p>2. 司会からシチュエーションごとのセイファーセックスのコミュニケーション・テクニックを紹介・解説</p> <p>3. 「できる範囲からセイファーセックスすることが大事」というメッセージを伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者が自らの考えを伝え、かつ他の参加者の考え方をすることで、自分も周囲もセイファーセックスしていることを理解する ・ コミュニケーション・スキルの解説を通じて、セイファーセックスのイメージを肯定し、セイファーセックスがしにくい場面でも「リスク回避ができる」という自己効力感の向上につなげる <p>○「お悩み相談コーナー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セイファーセックスに関する経験上の質問や相談など 	<p>○魅力・快感</p> <p>○行動変容意図</p> <p>○自己効力感</p> <p>○関心</p>	
<p>【4部】 まとめと動機付け</p>	<p>○ゲイの間での感染の広がり「身近な問題」「ゲイコミュニティとエイズ」について(動向調査の解説)</p> <p>○ワークショップ後にアクセスできる HIV 情報サイト、検査検索サイト、相談機関等の紹介</p> <p>○「できる範囲からセイファーセックスすることが大事」というメッセージを確認</p> <p>○「お悩み相談コーナー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な人が感染した場合に関する質問・相談など 	<p>○知識</p> <p>○行動変容意図</p> <p>○関心</p>	<p>10 分</p>
<p>【閉会】</p>	<p>○閉会挨拶</p> <p>○事後アンケートの記入</p>		<p>15 分</p>

※ 1 ヶ月後にフォローアップアンケートを実施

添付資料 2:平成 21 年度 LIFEGUARD のプログラム評価—プレ・ポスト・フォローの分散分析表

項目	有効回答数	平均点			要因間	有意確率
		実施前(プレ)	実施直後(ポスト)	1ヶ月後(フォロー)		
(1)体液知識	137	4.23	5.83	5.74	プレ-ポスト	0.000
					プレ-フォロー	0.000
					ポスト-フォロー	0.354
(2)部位知識	137	3.42	4.67	4.72	プレ-ポスト	0.000
					プレ-フォロー	0.000
					ポスト-フォロー	1.000
(3)行為知識	137	3.26	4.45	4.55	プレ-ポスト	0.000
					プレ-フォロー	0.000
					ポスト-フォロー	0.074
※感染知識計	137	10.18	14.95	15.01	プレ-ポスト	0.000
					プレ-フォロー	0.000
					ポスト-フォロー	1.000
(4)検査知識	137	2.59	3.61	3.78	プレ-ポスト	0.000
					プレ-フォロー	0.000
					ポスト-フォロー	0.027
(5)コンドーム抵抗感	130	3.92	5.67	5.46	プレ-ポスト	0.000
					プレ-フォロー	0.000
					ポスト-フォロー	0.043
(6)魅力快感	130	3.67	5.61	5.58	プレ-ポスト	0.000
					プレ-フォロー	0.000
					ポスト-フォロー	1.000
(7)行動変容意図	130	3.98	5.73	5.68	プレ-ポスト	0.000
					プレ-フォロー	0.000
					ポスト-フォロー	1.000
(8)周囲規範	130	3.12	4.90	4.92	プレ-ポスト	0.000
					プレ-フォロー	0.000
					ポスト-フォロー	1.000
(9)親近感	131	3.44	5.47	5.36	プレ-ポスト	0.000
					プレ-フォロー	0.000
					ポスト-フォロー	0.633
(10)主張スキル(アナルセックス)	133	2.22	3.52	3.47	プレ-ポスト	0.000
					プレ-フォロー	0.000
					ポスト-フォロー	1.000
(11)主張スキル(オーラルセックス)	132	1.92	3.45	3.38	プレ-ポスト	0.000
					プレ-フォロー	0.000
					ポスト-フォロー	0.820
(12)自己効力感	131	2.70	3.77	3.85	プレ-ポスト	0.000
					プレ-フォロー	0.000
					ポスト-フォロー	1.000

添付資料 3:平成 22 年度 LIFEGUARD のプログラム評価—プレ・ポスト・フォローの分散分析表

項目	有効回答数	平均点			要因間	有意確率
		実施前(プレ)	実施直後(ポスト)	1ヶ月後(フォロー)		
(1)体液知識	116	3.99	4.60	5.76	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	0.000
(2)部位知識	116	3.77	4.60	4.50	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	0.000
(3)行為知識	116	4.41	4.70	5.41	プレ・ポスト	0.151
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	0.000
※感染知識計	116	12.46	14.79	15.66	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	0.001
(4)検査知識	116	2.97	3.57	3.72	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	0.241
(5)コンドーム抵抗感	106	4.84	5.70	4.90	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	1.000
(6)セーファーセックス肯定感	106	4.73	5.71	5.56	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	0.166
(7)行動変容意図	103	4.97	5.80	5.73	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	0.793
(8)魅力快感	102	4.23	5.03	5.15	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	1.000
(9)周囲規範	105	3.66	4.44	4.83	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	0.020
(10)親近感	106	4.42	5.25	5.47	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	0.315
(11)主張スキル(アナルセックス)	104	2.72	3.36	3.55	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	0.003
(12)主張スキル(オーラルセックス)	106	2.45	3.27	3.40	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	0.189
(13)自己効力感	107	3.29	3.79	3.86	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	0.537

項目	有効 回答 数	平均点			要因間	有意確率
		実施前 (プレ)	実施直後 (ポスト)	1ヶ月後 (フォロー)		
(1)体液知識	106	3.08	5.81	5.82	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	1.000
(2)部位知識	106	3.05	4.75	4.58	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	1.000
(3)行為知識	106	3.58	5.40	5.47	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	1.000
※感染知識計	106	9.71	15.96	15.88	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	1.000
(4)検査知識	106	2.46	3.69	3.76	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	1.000
(5)コンドーム抵抗感	106	3.83	5.47	5.25	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	0.563
(6)セーファーセックス肯定感	105	3.78	5.43	5.38	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	1.000
(7)行動変容意図	104	3.98	5.57	5.40	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	0.856
(8)魅力快感	103	3.25	5.03	5.15	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	1.000
(9)周囲規範	105	3.12	4.73	4.71	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	1.000
(10)親近感	104	3.65	5.41	5.40	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	1.000
(11)主張スキル(アナルセックス)	101	2.12	3.48	3.50	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	1.000
(12)主張スキル(オーラルセックス)	100	1.86	3.42	3.36	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	1.000
(13)自己効力感	101	2.55	3.70	3.73	プレ・ポスト	0.000
					プレ・フォロー	0.000
					ポスト・フォロー	1.000

Ⅱ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

著者氏名	書籍名	出版社名	出版地	出版年
岡島克樹・風間孝・ <u>河口和也</u> 訳（アルトマン、デニス著）	ゲイリベレーション—抑圧と解放	岩波書店	東京	2010
<u>河口和也</u> ・風間孝 著	異性愛と同性愛	岩波書店	東京	2010
<u>河口和也</u>	「クィアの可視化をめぐる諸問題—テレビ番組を事例として—」	『論叢クィア』第3号 pp.24-37 2010	東京	2010

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業
平成 21 年度～23 年度総合研究報告書

**地方公共団体－NPO連携による個別施策層を含めた
HIV対策に関する研究**

平成 24(2012)年 3 月 31 日 発行

研究代表者 嶋田 憲司

特定非営利活動法人 動くゲイとレズビアンの会

164-0012 東京都中野区本町 6-12-11 石川ビル 2F

TEL: 03-3383-5556 FAX: 03-3229-7880

E-mail: occur@kt.rim.or.jp URL: <http://www.occur.or.jp>

厳禁無断複製転載© 特定非営利活動法人 動くゲイとレズビアンの会

